

UN Womenの優先領域

1. 女性のリーダーシップと政治参画の機会の増加
2. 女性の経済的エンパワーメントの強化
 - ◆ 例えば不動産への平等なアクセス等、女性の経済的資産や担保を拡大する法律や政策の採択と実施の支援
 - ◆ 女性の移民労働者と国内労働者の保護を強化する二国間協定の支援
 - ◆ 女性の時間負担を減少させ生産性を高める為、ジェンダーに配慮したインフラ・交通・エネルギーを促進
 - ◆ 民間企業による「女性のエンパワーメント原則」の署名
3. 女性と女兒に対する暴力の根絶
4. 平和構築・安全保障の交渉・復興における女性の全面的な介入
5. ジェンダー平等を国家の開発計画と予算編成の中心に置く
6. 政府間機関へのサポート

UN Women の活動

- ニューヨークに本部
- 78の国に地域・国事務所、3カ国にリエゾン・オフィス

- 各国政府に対する、法制化や法律制定の為のプログラムや技術援助
- 資金力のある基金：
 - UN Womenジェンダー平等のための基金
 - 女性に対する暴力撤廃国連信託基金

- UN Womenの活動資金は国連加盟国、基金や財団、民間企業、NGO、UN Women国内委員会からくる

UN Women日本事務所の活動

1. 主に日本政府からの資金獲得のための活動
2. 社会の動向調査 パートナーシップの構築
3. 認知度の向上

使途が定められていない資金(拠出金)	946,809米ドル
女性に対する暴力撤廃国連信託基金	100万米ドル

このような活動以外では、ニューヨークのWEPS事務局のサポートとして日本企業のWEPS署名支援を行う

2012年実施事項の要点

- WEPS支持表明署名数は大きく伸びています。
世界レベルでも目標の500社に到達
- 進捗状況に関する報告書が発行され、WEPS実施の経過や報告において企業を支援する役割を果たす
- 新しいウェブサイトが好事例の共有や交換といった情報のプラットフォームとして開発
- 国レベルで連携が発展

WEPs インドでは



- CARE India(ケア インディア)は WEPsを通じて
ジェンダー平等やビジネスにおける女性の役割の強化に取り組む
- 国連グローバル・コンパクトの ローカルネットワーク
インドの企業グループ や UN Womenとの連携事業実施

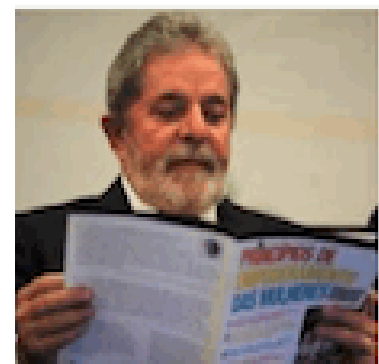


WEPs ブラジルでは



- ステークホルダーグループの積極的な活動- WEPs連携を構築する
企業主導型
- ペトロブラス・ウォルマート・ダウ・カミンズ・アーンスト&ヤング・デロイト
といった企業が、WEPsやジェンダー平等に対する支持を表明
- 指針に沿った重点的な取り組みの実施
- 優れた女性の継続雇用 – 好事例を共有

WEPsを学ぶ
ルラ前大統領



今現場では... 世界各地の取り組み



WEPSは、企業、UN Women、国連グローバル・コンパクト、非政府組織、行政機関一国レベルの連携事業

- ▼ 自発的に取り組んでいること：
- ▼ 好事例に焦点を当て、広く発信する
- ▼ 共通の問題を確認する
- ▼ 「1つのやり方がすべてではない」一個々の企業努力に合わせた連携

2013年以降

- より詳細なウェブサイト構築
- WEPSの成果報告の奨励